

政策 04 都市基盤に関する政策

施策 04 市街地の整備

あるべき姿

市街地開発事業などにより、災害に強く、秩序ある魅力あふれる街並になり、人口増加や土地の有効活用が図られています。

施策の成果状況と評価

指標	秩序ある街区、区画、街並になっていると感じる市民の割合（％）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
		【市街地整備課】	71.5	72.9	77.6	77.6
評価	<p>(状況) 秩序ある街区、区画、街並になっていると感じる市民の割合は、基準値(71.5%)と比較して、6.1ポイント向上し、前年度と比較しても4.7ポイント向上しました。</p> <p>(要因) 指標値はここ数年横ばいでしたが、令和元年度に駅通り地区再開発事業によって、施設建築物や道路及び公園などの公共施設が整備され、約10年前に完成したエルミここのすと一体の基盤整備が図られました。また、土地区画整理事業でも一定の進捗が図られ、インフラ整備に伴ってさらに新しい街並みが形成されつつあります。</p>					対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 ■ ■ ■ (高)

指標	市街化区域内人口（人）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
		【市街地整備課】	92,466	92,658	92,664	92,912
評価	<p>(状況) 市街化区域内人口は、基準値（92,466人）と比較して、82人増加し、前年度と比較しても6人増加しました。</p> <p>(要因) 土地区画整理事業や再開発事業の進捗により住宅供給エリアが拡大されていることが挙げられます。一方で、人口の自然減少も進んでいる状況であるため、引き続き両事業の推進による波及効果をねらい、市街化区域内人口の増加を図っていきます。</p>					対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 ■ ■ ■ (低)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 鴻巣中心拠点の充実

指標	再開発地区（A地区、駅通り地区）の公共空地整備率（％）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
	【市街地整備課】	73.9	73.9	100	100	☀ (向上)
評価	（状況）再開発地区（A地区、駅通り地区）の公共空地整備率は、基準値（73.9％）から100％になりました。 令和元年度に駅通り地区の再開発事業による整備が終了し、道路や公園といった公共施設が供用開始されたことにより、一気に利便性が高まりました。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						☀ (達成)

## 基本事業01 鴻巣中心拠点の充実

指標	鴻巣駅周辺流動人口（＝地域経済分析システム（RESAS）における携帯位置情報）（人）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
	【市街地整備課】	122,075	113,975	120,667	122,806	☂ (低下)
評価	（状況）地域経済分析システム（リーサス）による鴻巣駅周辺における毎月流動人口の年間合計数は、基準値（122,075人）と比較して、1,408人減少しました。 鴻巣駅東口駅通り地区第1種再開発事業に伴う施設建築物新築工事が令和元年7月に工事完了し、引渡しされたことから、当初は敷地利用が制限されていたものの、マンションへの引越しや店舗のオープンに伴い、人々の流れが活性化しつつあると考えられます。今後、全ての店舗がオープンするにつれ、さらに流動人口がアップすることが期待できます。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						■ ■ (中)

## 基本事業02 土地区画整理事業の推進

指標	舗装まで整備が完了している区画街路の整備率（％）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
	【市街地整備課】	32.3	42.2	50.4	49.0	☀ (向上)
評価	（状況）区画道路整備率は、基準値（32.3％）と比較して、18.1ポイント向上しました。					対 前年度
						☀ (向上)
	（要因）市からの繰入金や国庫補助金の増加により事業費を確保し、他事業（上下水道事業等）と連携を図りながら、区画街路の整備を推進したことなどが挙げられます。今後は他の補助金なども検討し、補助金の増額に努めると共に、他事業（上下水道事業等）との連携を図りながら整備を推進します。					目 標 達 成 度
						(---)

## 基本事業02 土地区画整理事業の推進

指標	仮換地の整備が完了し、利用が可能になった土地の使用収益開始率（％）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
	【市街地整備課】	41.9	49.7	54.2	56.4	☀ (向上)
評価	（状況）使用収益開始率は、基準値（41.9％）と比較して、12.3ポイント増加しました。					対 前年度
						☀ (向上)
	（要因）区画道路の整備推進により、使用収益を開始する宅地が増加したことが挙げられます。今後は、区画道路の整備エリアが拡大しますので、使用収益を開始する宅地の増加を目指します。					目 標 達 成 度
						■ ■ (中)

**基本事業02 土地区画整理事業の推進**

指標	土地区画整理事業施行区域内人口（人）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
		【市街地整備課】	2,240	2,778	2,947	2,924
評価	<p>(状況) 土地区画整理事業施行区域内の定住人口は、基準値(2,240人)と比較して、707人増加しました。</p> <p>(要因) 使用収益開始率が向上したことにより、保留地や地権者の住宅建築が進んだことが挙げられます。今後も引き続き使用収益開始率を向上し、定住人口の増加を目指します。</p>					対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達 成 度	■ (高)		

**基本事業03 駅及び駅周辺の利便性の向上**

指標	駅の利便性（バス、タクシー、送迎者への乗降等）に関する満足度（%）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
		【都市計画課】	72.5	68.8	75.5	75.8
評価	<p>(状況) 市民アンケートによる駅の利便性に関する満足度は、基準値(72.5%)と比較して、3.0ポイント向上し、前年度と比較しても6.7ポイント向上しました。</p> <p>(要因) J R 3駅の各駅前広場の整備は概ね完了し、利便性は向上していると考えられます。今後も引き続き利用しやすい駅前広場の整備に取り組んでいきます。</p>					対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達 成 度	■ (高)		